

SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 11 巻第 43 号

第 43 週 (10月24日～10月30日)

発行年月日:平成23年(2011年) 11月2日

発行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

今週の感染症発生動向

◆ 腸管出血性大腸菌感染症の発生は、過去最高の68例！

★ 一類～五類全数報告感染症の発生状況 (第43週)

- ・一類感染症――報告はありません
- ・二類感染症――結核 4名
- ・三類感染症――腸管出血性大腸菌感染症 1名 (患者、血清型・毒素型:O不明・VT1)
- ・四類感染症――報告はありません
- ・五類感染症――報告はありません

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況は、(3)今週の発生状況に示すとおりです。

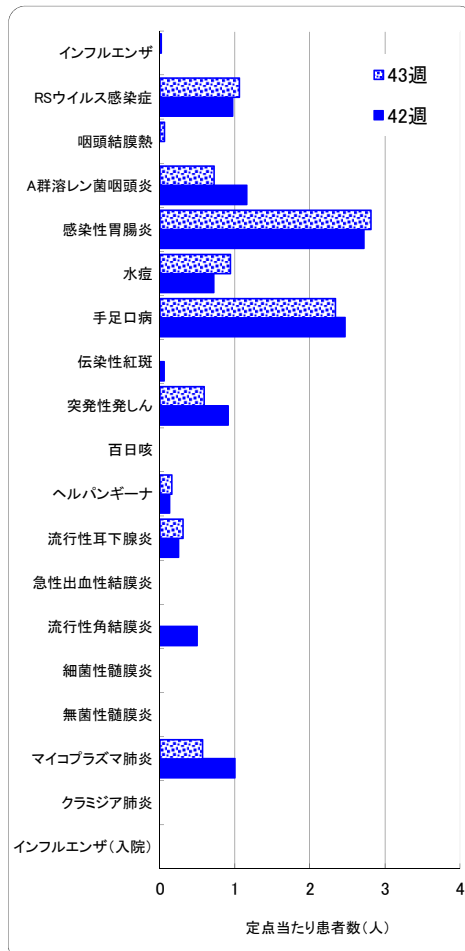
今後も引き続き感染予防に対する注意 (①手洗いを十分に。②食肉の加熱時には、食品の中心温度を75℃1分以上加熱する。③食肉を生で食べないようにする。④患者からの二次感染に気をつける等)が必要です。

★ 定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況 (先週との比較、定点当たり患者数)

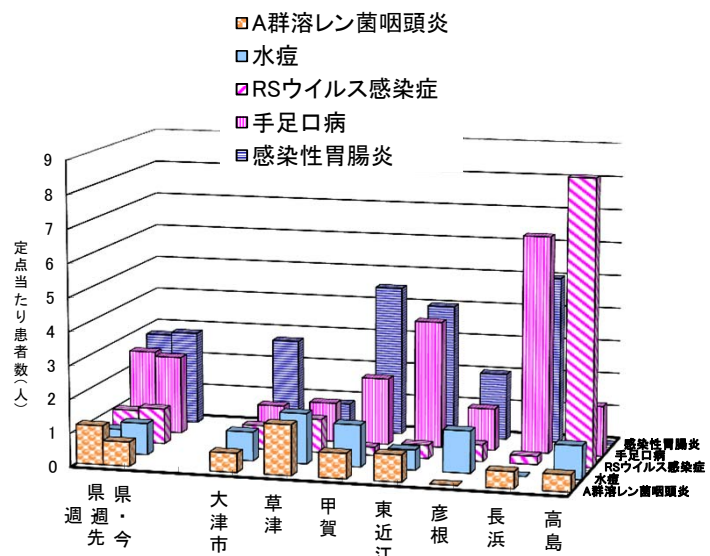
下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(311名)より減少し、今週は293名となっています。今週、増加した疾患はRSウイルス感染症、感染性胃腸炎、水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で、減少した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、手足口病、マイコプラズマ肺炎等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとおりです。

警 報――手足口病 (警報開始基準値 5.00、警報終息基準値 2.00) 甲賀および長浜保健所管内



上位疾患の保健所管内別発生状況 (第43週)



県全体における上位疾患の発生状況は、①感染性胃腸炎、②手足口病、③RSウイルス感染症、④水痘、⑤A群溶レン菌咽頭炎の順に多くなっています。

- 感染性胃腸炎――甲賀、東近江および長浜でやや多くなっています。
- 手足口病――県全体では先週より微減となっていますが、長浜および彦根でやや増加しています。また、甲賀および長浜では、引き続き警報終息基準値を超えています。
- RSウイルス感染症――高島で多い状態が続いています。
- 水痘――長浜および高島以外で先週より増加しています。
- A群溶レン菌咽頭炎――多い状態が続いていた草津で、先週より大幅に減少しています。

1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～五類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感 染 症 類 型	疾 患 名	平成23年 累積報告数		平成22年 累積報告数 ^(※1)		平成21年 累積報告数 ^(※2)	
		滋賀 (43週)	全 国 ^(※3) (42週注)	滋賀	全 国 ^(※3)	滋賀	全 国 ^(※3)
一 類 感 染 症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	結核	266	24,558	251	26,704	256	26,996
三 類 感 染 症	コレラ	0	8	0	10	1	16
	細菌性赤痢	3	250	2	235	0	181
	腸管出血性大腸菌感染症	68	3,454	66	4,131	27	3,889
	パラチフス	0	20	1	21	0	27
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	48	0	66	1	56
	A型肝炎	0	160	3	346	0	115
	オウム病	0	12	1	11	0	21
	つつが虫病	0	178	2	406	0	465
	デング熱	1	89	2	245	0	93
	マラリア	0	67	0	76	0	56
	レジオネラ症	10	639	10	751	8	717
	アメーバ赤痢	2	660	7	845	10	786
五 類 感 染 症	ウイルス性肝炎	1	198	3	222	3	223
	急性脳炎	1	210	0	241	8	526
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	108	2	171	2	142
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	167	3	127	2	103
	後天性免疫不全症候群	4	1,159	1	1,549	9	1,446
	ジアルジア症	1	52	1	80	0	70
	梅毒	6	626	9	621	3	691
	破傷風	1	95	0	106	3	113
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	49	2	121	0	116
	風しん	2	332	5	89	2	147
	麻しん	1	414	1	455	7	732
新型インフルエンザ 等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(※4)	0	0	0	0	138	12,654
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	9	23	0	59	0	34

注：43週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

※1：感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年3月現在)。

※2：感染症発生動向調査事業年報(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年4月確定)。

※3：全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

※4：感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間：平成21年7月24日～8月24日)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。

(患者報告数＝定点当たり患者数×定点数)

(1)疾病別・週別発生状況(平成23年第38週～43週、9/19～10/30)

定点区分	定点 数	疾 患 名	定点当たり患者数(↑ 前週より増加 → 前週と同じ ↓ 前週より減少)										
			38週	39週	40週	41週	42週	43週	週				
			9/19～	9/26～	10/3～	10/10～	10/17～	10/24～	39	40	41	42	43
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0	0.02	0	0.02	0	0.02	↑	↓	↑	↓	↑
小児科	32	RSウイルス感染症	0.34	1.19	1.38	1.19	0.97	1.06	↑	↑	↓	↓	↑
		咽頭結膜熱(プール熱)	0.13	0.03	0.03	0.03	0	0.06	↓	→	→	↓	↑
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	0.84	0.72	0.53	1.16	0.72	↑	↓	↓	↑	↓
		感染性胃腸炎	2.75	2.34	2.50	2.53	2.72	2.81	↓	↑	↑	↑	↑
		水痘	0.38	0.44	0.31	0.47	0.72	0.94	↑	↓	↑	↑	↑
		手足口病	2.19	2.81	2.56	2.63	2.47	2.34	↑	↓	↑	↓	↓
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0.03	0.34	0.06	0.06	0	↑	↑	↓	→	↓
		突発性発しん	0.56	0.50	0.63	0.38	0.91	0.59	↓	↑	↓	↑	↓
		百日咳	0	0.09	0.03	0.03	0	0	↑	↓	→	↓	→
		ヘルパンギーナ	0.66	0.41	0.56	0.25	0.13	0.16	↓	↑	↓	↓	↑
		流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.63	0.72	0.38	0.50	0.25	0.31	↑	↓	↑	↓	↑
眼科	8	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		流行性角結膜炎	0.25	0.13	0.25	0.50	0.50	0	↓	↑	↑	→	↓
基幹	7	細菌性髄膜炎	0.14	0	0.14	0	0	0	↓	↑	↓	→	→
		無菌性髄膜炎	0	0.14	0.14	0.14	0	0	↑	→	→	↓	→
		マイコプラズマ肺炎	0.14	0.43	0.29	0	1.00	0.57	↑	↓	↓	↑	↓
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		インフルエンザ(入院)*	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→

*：平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

→：未集計

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第43週、10/24～10/30)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.02	0	0.10	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	1.06	0.71	1.00	0.25	0.40	0.50	0.25	8.50	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.06	0	0	0	0.20	0	0	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.72	0.57	1.50	0.75	0.80	0	0.50	0.50	
感染性胃腸炎	2.81	2.71	0.83	4.50	4.00	2.00	5.00	0	
水痘	0.94	0.86	1.50	1.25	0.60	1.25	0	1.00	
手足口病	2.34	1.00	1.17	2.00	3.80	1.25	6.50	1.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.59	0.29	1.00	0.75	0.60	0	0.75	1.00	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.16	0.29	0.17	0	0	0.50	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.31	0.29	0.33	0	0.80	0	0.50	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.57	2.00	0	0	2.00	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザ(入院)	0	0	0	0	0	0	0	0	

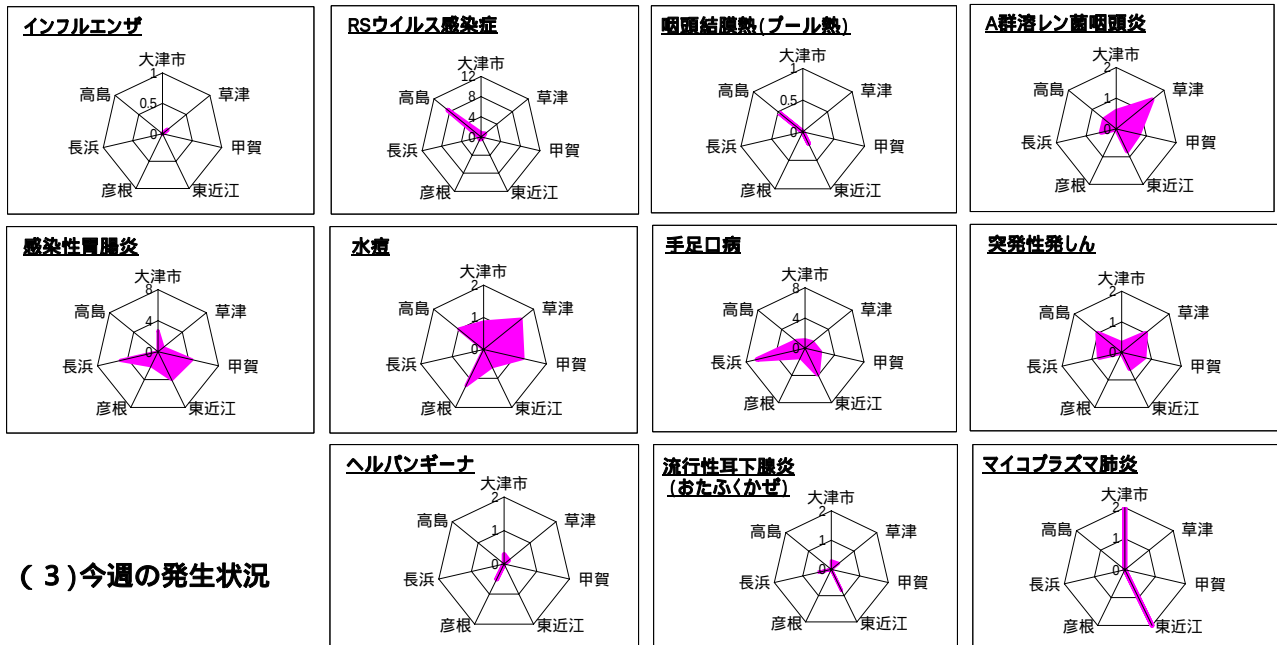
赤・太字
青緑・太字

は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。

は注意報発生基準値を超えています。

0 1 2 3 4
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



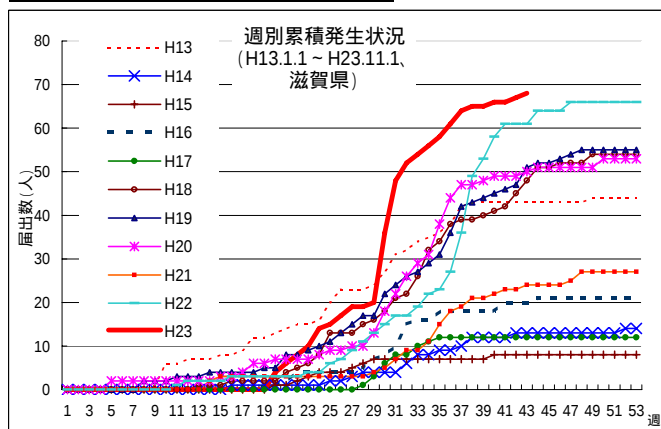
(3)今週の発生状況

<マイコプラズマ肺炎>

県全体では先週より大幅に減少していますが、大津市および東近江保健所管内からは引き続き報告されています。滋賀県での第1～43週の年齢群別発生割合は、0～4歳 23.9%、5～9歳 36.5%、10～14歳 23.8%、15～19歳 3.2%、20～39歳 11.1%、40～59歳 1.5%となっています。また、全国における第1～41週の年齢群別発生割合は、0～4歳 37.0%、5～9歳 29.3%、10～14歳 15.0%、15～19歳 2.8%、20～39歳 7.6%、40～59歳 3.2%および60歳以上 5.0%となっています。

[トップページに戻る](#)

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況



平成23年11月1現在の届出数は 68名 で、男性 36名、女性 32名です。診断の類型は患者 44名、無症状病原体保有者24名です。

血清型・毒素型は

O157・VT1&VT2	35名	O157・VT1	2名
O不明・VT1	1名	O157・VT2	9名
O不明・VT2	1名	O128・VT2	1名
O26・VT1	16名	O145・VT1	1名
O6・VT2	1名	O121・VT2	1名です。

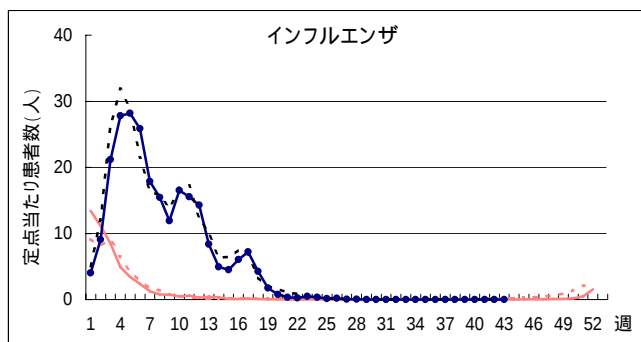
年齢は

0～9歳 12名、10～19歳 10名、20～29歳 20名
30～39歳 10名、40～49歳 5名、50～59歳 4名
60～69歳 3名、70歳以上 4名です。

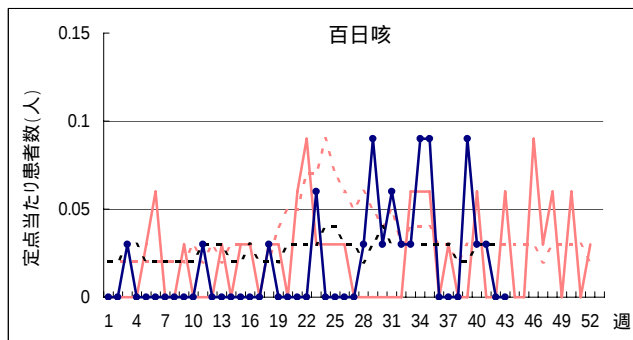
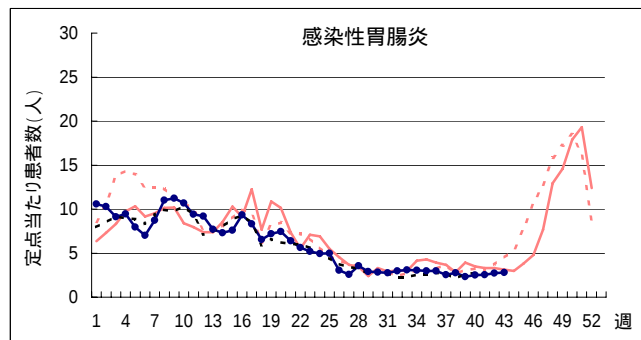
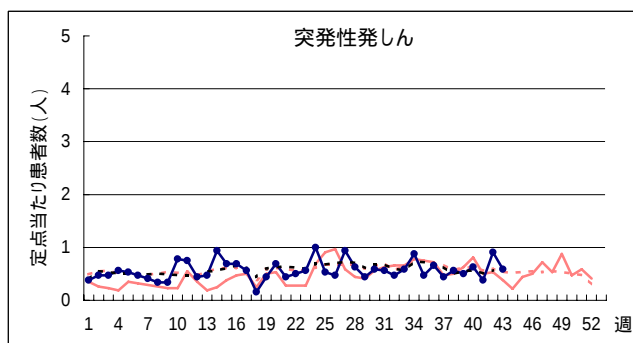
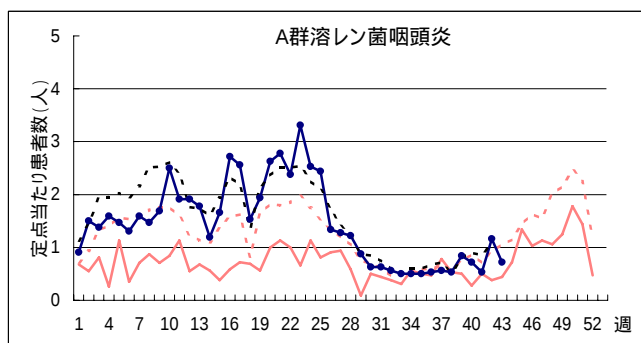
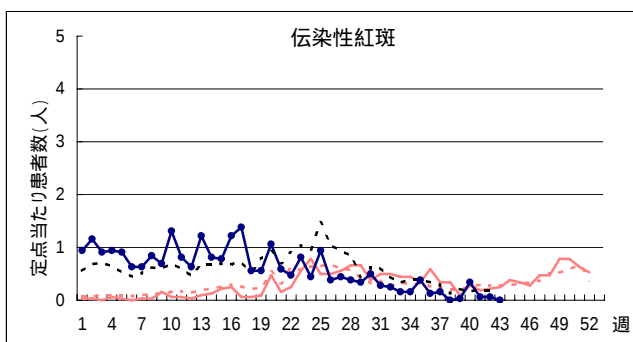
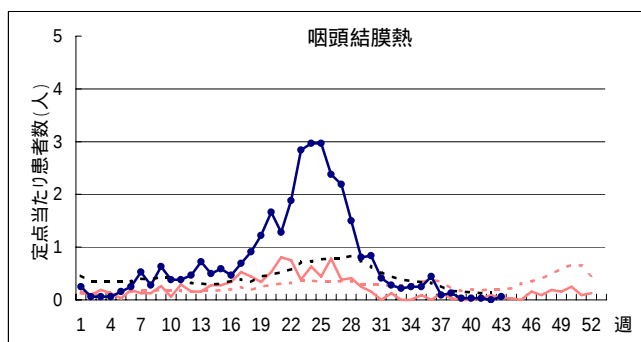
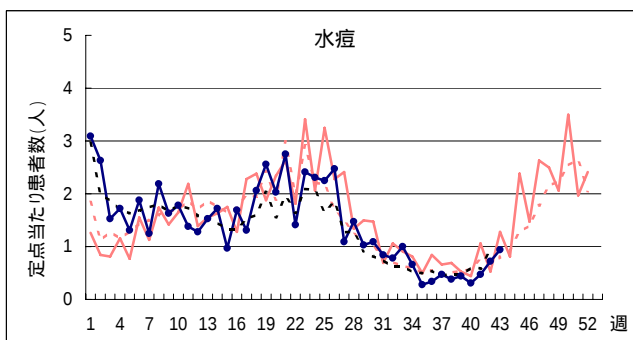
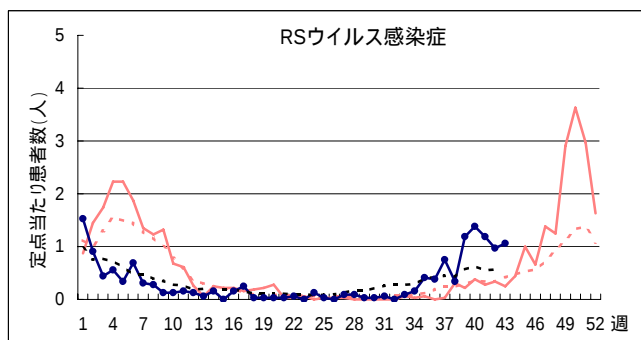
届出保健所管内別は

大津市 20名、草津 19名、甲賀 4名
東近江 16名、彦根 5名、長浜 4名です。

疾病別定点当たり患者数(平成23年第 1～43 週、H23.1.3～H23.10.30)



H22 { 滋賀 ————
全国
H23 { 滋賀 —●—
全国
週



疾病別定点当たり患者数 (平成23年第 1 ~ 43 週、H23.1.3 ~ H23.10.30)

H22 〔 滋賀 ———— 全国 〕
H23 〔 滋賀 ———— 全国 〕

